



謹

賀

新

年



福岡県労福協
理事長 高島喜信

新年明けましておめでとうございます。旧年中の福岡県労福協に対します格別のご支援に対し厚く御礼申し上げます。

昨年は、新公益法人制度改革における一般社団法人への移行を行い、新たな決意で諸事業を展開してきましたが、公益目的事業の拡大を含めて共助の仕組みづくりなど課題はまだ山積をしています。これまでの歴史・理念、役割を再認識しつつ、本年は「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」への基盤、システムづくりに重点を置いて、取り組まなければならないと思っています。

2012 国際協同組合年の取り組みにおいて、昨年一年間を通じて、様々な場で協同組合の社会的価値や協同組合と労働組合との連携強化を訴えるとともに、「共助」を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できるようにしていくことを課題提起してきました。

現在、低賃金の非正規労働者、リストラなどで職を失った人たち、無年金・低年金で生活保護に頼らざるを得ない高齢者の方など、共助を最も必要としている人たちが、その仕組みを外にいるのが実態です。そうした人々へ、どのようにして共助の輪を拡大していくのか、私たちは真剣に考え、具体化していく時期に来ていると思います。

もちろん、公助がその人たちのカバーをしていく、その役割を果たすということが理想であります。連帯や共助が普遍的な価値である以上、さらに一歩踏み出し、具体的な形にして、労働組合と協同組合が連携し、できるところから行動に移していかなければならないと思います。

時代は大きく動いています。労働運動、労働者福祉運動に求められている役割と責任は益々大きくなっていきます。新しい時代のステージを自らの手で創造していくことが私たちの使命であるという気概で、共に頑張りましょう。



中央労福協
会長 古賀伸明

新年明けましておめでとうございます。

今年は、2009年に策定した労福協の「2020年ビジョン」に向けた具現化の折り返し点にあたります。2012年の国際協同組合年を契機に、中央労福協は改めて協同組合の社会的価値を訴え、原点に立ち返って労働組合と協同組合との連携強化を呼びかけてきました。私も様々な場で、最も共助を必要とする人たちが共助の仕組みの外にいる現状を指摘し、そうした方々に共助の輪を拡大していくことを繰り返し問題提起してきたところです。

今年、労働団体と事業団体の連携行動を通じて、協同事業の基盤強化に向けた利用促進と、労働者福祉のウイングの拡大をめざす共助拡大運動の2つを活動の軸とし、昨年1年かけて議論してきたことを具体的な形にし、行動に移していく年にしていきたいと思えます。

昨年末に生活困窮者自立支援法が成立し、困窮者に対する包括的・伴走型の支援が制度化され2015年度から全国で実施される道筋ができました。しかし、本来の趣旨にそった制度にしていくためには、本年度の取り組みが極めて重要です。各地域において着実に体制づくりを進め、労福協を含めた幅広い支援組織が参画していくことで、制度に魂を込めていくことが必要です。

同時に、貧困を生み出す原因をなくしていくための取り組みも不可欠です。本来問われるべきなのは、働いても生活できない、働きたくても働けないという今の社会の姿なのです。格差や貧困のない社会に向けて、労福協も社会の共感の得られる運動の一翼を担っていきたく思います。

競争とか効率、経済性をすべて否定するものではありませんが、そこだけに重きをおいた政策については徹底して対峙していかなくてはなりません。連帯・協同、共生、社会性といった価値観や政策がバランス良く配置された社会をめざして、共に前進しましょう！

引き続き、それぞれの立場からの労福協運動への参画とご支援をお願い申し上げます。



福岡県知事
小川 洋

新年あけましておめでとうございます。
福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、日頃から労働者福祉の向上にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、株価や民需、輸出が回復するなど、景気回復に向けた明るい動きが出てきた一年でした。今年は、こうした明るい動きを確固としたものにし、個人、企業、地域が元気になっていく年にしたいと考えております。

このため、まず景気・雇用対策に取り組みます。

設備投資や新規雇用が着実に進んでいる「グリーンアジア国際戦略総合特区」について、引き続き産学官一体となってその効果を広げていきます。

また、県内雇用の約8割を担う中小企業の経営安定と発展のため、経営改善や資金繰り対策など総合的な支援を行います。

同時に、誰もがはつらつと生活し、いきいきと活躍できる地域社会づくりに取り組みます。「70歳現役社会」の実現に努めるとともに、待機児童の解消、保育サービスの充実をはじめ、仕事と子育ての両立を支援してまいります。

新しい年が、皆さまにとって、夢や希望、元気に満ちあふれる一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



福岡県生協連
会長理事 宮崎正義

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の会員の皆さまには、日頃より「ふくし情報でんわ」等の共同利用につきまして、多大なご協力をいただいていることに感謝とお礼を申し上げます。

福岡県生協連はこの一年間、ポストIYC（国際協同組合同年）の取り組み、消費者被害防止と消費者行政の推進、食の安心・安全を求めての取り組み、大規模災害に備えた取り組み、核兵器の廃絶に向けた取り組み等を重点的に進めてまいりました。

ポストIYCの取り組みでは、一昨年のIYCの取り組みを継承するための組織として「協同組合ふくおかネットワーク推進協議会」及び「福岡県協同組合促進懇話会」を結成し、有意義な県内協同組合合同の行事を開催することができました。

消費者被害防止の取り組みでは、適格消費者団体 消費者支援機構福岡の構成団体として、不当な契約条項等に対して訴訟提起も行うなど新たな活動の広がりを作ることができました。

一方、地球規模の気候変動は、国内においても想定外の集中豪雨の発生など、おおくの尊い命が奪われるなど、今まで経験したことのない災害をもたらしています。また、東日本大震災からの復興は引き続き最重要課題として取り組みを継続する必要がある、生活協同組合の取り組みにも期待されるところです。

新年の初めに、地域社会の一員として、暮らしと命を守る生活協同組合として、更に、新たな決意を持って奮闘せねばならないと考えております。

今年も旧倍のご厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



北九州総合労働会館
理事長 末廣勝嘉

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、北九州総合労働会館(真鶴会館)の事業運営に対しまして、事業・労働団体をはじめ、会員各位の皆さま方に、ご支援とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は、会館にとって大きな節目となる公益法人制度改革への対応としまして、一般社団法人としての認可を取得することができました。

第41回臨時総会において、会員の皆さまに一般社団法人として生まれ変わりました労働会館の事業計画や予算などについてご承認をいただいたところです。

労働会館も開館から34年目の後半になり、「中期経営5ヵ年計画」の最終年度の事業運営に入っていますが、取巻く厳しい環境の中、利用者の減少対策や設備の老朽化への対応など、多くの課題が山積しているところです。

特に「北九州市耐震改修促進計画」に基づき当会館も平成26年度中に耐震診断を受ける必要が出てまいりましたので、今後検討に入る予定です。

このように厳しい状況は続いておりますが、入館いただいております事業・労働団体の皆さまをはじめ、勤労者・市民の皆さんが安心して快適にご利用していただけるように役職員一丸となって、最大限の努力をしてまいります。

本年も引き続き、北九州総合労働会館に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 山城正一

新年あけましておめでとうございます。今年も会員・組合員の皆様とともにすばらしい新年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

私は、昨年「響」という言葉を大事に活動を続けたいと決意を申し上げました。「響」とは音や声が多く周囲に広がる、伝わる。物が振動をやめたあとに残る、音、余韻です。私たちの活動が、組織化された皆さんに留まらず組織化されていない皆さんにも伝わり、広がっていったらと思ったからです。まだまだ「響」はそんなに広がっていませんが、地道にかつ日々、継続した取り組みをしていくことが、大事だと決意し、私たちの基本的活動の柱である「希望と安心、助け合いの行動」を全力で進めて行きたいと思っております。

労働金庫も、次世代システムの導入など新たな挑戦を始めたばかりですが、厳しい社会・経済環境を乗り越え、将来ともに健全であり続けるために、労働金庫の原点である「協同組織の福祉金融機関」として「助け合い」を忘れずに、その理念を追求していきたいと考えています。

役職員一人一人の力の結集と総合力を発揮し会員の皆さん、利用者の皆さんに信頼され利用していただける労働金庫になるよう全力を挙げる決意を申し上げ、新年の挨拶とします。決してあきらめずに。



全労済福岡県本部
本部長 島村幸利

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、全労済に対して格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして、全労済福岡県本部は福岡県労働者共済生活協同組合として昨年11月に創立50周年を迎えることができました。今日の礎を築いていただいた関係各位のご協力とご指導に、あらためて感謝申し上げます。

一昨年より「もやいの心で50年」をキャッチフレーズとして「感謝すること」「広げること」「未来に伝えること」をテーマに記念事業を行っています。東日本大震災で被災した宮城県の子どもたちを福岡に招いた研修旅行、「未来の子供たちに何を遺せるか、私たちに何ができるか」をテーマとした講演会、子どもたちに夢を与えるミュージカルの開催など、次の50年につなげるための社会貢献事業と位置づけながら記念事業を展開していますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

今後も組合員、協力団体の皆さまから信頼・選択していただける全労済を目指し、役職員一体となって努力を続けて参ります。本年もより一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆さまにとって素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。

ZENROSAI NEWS

謹賀新年

本年も全労済を 宜しくお願い申し上げます

全労済福岡県本部 (福岡県労働者共済生活協同組合)

本部長
島村 幸利

副本部長
品川 浩二

副本部長
角田 昭一

副本部長
石川 和正

専務執行役員
岩木 克明



保障のことなら 〒810-8611
福岡市中央区舞鶴1-1-7

全労済

TEL 092-739-6100

http://www.zenrosai.coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

40132034

謹賀新年

本年も九州ろうきんを
宜しくお願い申し上げます。

九州労働金庫福岡県本部

本部長 山城 正一

役職員一同



つかえるろうきん
みんなのろうきん

九州ろうきん

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

九州ろうきん

検索



**連帯・協同で安心・共生の
福祉社会をつくるため
本年も頑張ります。**



北九州地域労働者福祉協議会
会長 品川 浩二
事務局長 中間 徹



京築・田川地域労働者福祉協議会
会長 小山 巖
事務局長 安藤 正宣



遠賀川地域労働者福祉協議会
会長 川畑 哲実
事務局長 寒竹 準一



福岡地域労働者福祉推進協議会
会長 小森 伸一
事務局長 桑原 忠志



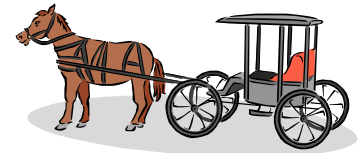
筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会
会長 仲村 浩之
事務局長 小森 幸雄



北筑後地域労働者福祉協議会
会長 鹿田 哲
事務局長 伊藤 正美



南筑後地域労働者福祉協議会
会長 堤 隆弘
事務局長 本田 賢治



福祉募金

日頃のご支援に感謝申し上げます
本年度も何卒ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

取組期間：2013年12月1日～2014年3月31日

【目的】心身ともにハンディキャップを背負いながらも、自立と社会参加をめざす人達の福祉向上と、支援の輪を広げていくことを目的とします。



遠賀川地域労福協



福岡地域労福協



京築・田川地域労福協



筑紫・朝倉地域労福協



南筑後地域労福協



北筑後地域労福協



北九州地域労福協

2012年度の取組みでは
7,382,792円の浄財が
集まり、県内22施設へ
必需品を寄贈しました。

